

新年あけましておめでとうございます。

昨年もまた院内外の先生のご高配を賜り、さらに症例数が増加いたしました。胸部領域の心臓大血管手術は今年も200例以上となり、緊急手術も積極的に受け入れさせていただきました。手術成績につきまして詳細な検討をいたしましたので、「annual report」としてご報告させていただきます。

例年に引き続き良好な手術成績が維持できていると考えております。単独冠動脈バイパス手術は単独であればすべて心拍動下人工心肺非使用で施行して早期開存率も良好で、再開胸止血術は一例もなし、など、良好な成績を収めております。またステントグラフトと開胸手術を組み合わせたハイブリッド手術を導入することにより、よりハイリスクな患者様に大動脈治療の提示することが可能となりました。これにより今年度は胸部ステントグラフトの症例数は増加いたしました。まずは2018年の手術成績をご報告させていただきます。お気づきの点がございましたら、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



心臓血管外科 部長 小林豊

症例数		症例数	
I 冠動脈バイパス術	36	III 胸部大動脈瘤のみ	24
A 単独(オフポンプ)	24	IV 急性大動脈解離	43
B 単独(オンポンプ)	0	V その他	22
1 +弁膜症		VI 先天性心疾患	0
2 大動脈弁	2	VII ステントグラフト	138
3 僧帽弁	1	A 胸部ステントグラフト	69
4 三尖弁	0	B 腹部ステントグラフト	69
5 その他(二弁、大血管など)	9	VIII AAA	11
II 弁膜症	30	IX 末梢血管	50
A 大動脈弁	15	末梢動脈	41
B 僧帽弁	3	下肢静脈瘤	9
C 三尖弁	0	X 透析シャント	62
D 連合弁膜症	10	XI その他	17
E Bentall	3		
F +大血管	2		
		胸部心臓大血管 計	224
		総手術数	433

冠動脈バイパス手術

単独冠動脈バイパス術は全例 off pump(人工心肺非使用)で対応させていただきました。心機能や血管性状が悪い症例も多く、人工心肺を使用したバイパスも必要に応じて選択しておりますが、術前 IABP 挿入など術式を工夫して off pump で施行可能でありました。また、術後早期グラフト開存も良好で、手術の質も最良を維持できました。また、大血管などに伴う合併症例に対しても積極的に冠動脈血行再建を施行いたしました。腎機能温存や長期成績を考慮してバイパス術を選択いただければ幸いです。

弁膜症手術

大動脈弁狭窄症および連合弁膜症が多く、ご高齢の患者様にも積極的かつ安全に弁膜症手術を施行いたしました。また僧帽弁手術の多くは自己弁を温存した形成術が可能でありました。患者様の希望に応じて小切開手術にも対応させていただきます。今年は新しい補助循環装置であるインペラの導入もあり、より積極的に重症心不全に適応していこうと考えております。

胸部大動脈瘤手術

急性大動脈解離は今年も積極的に受け入れさせていただきました。以前は保存的加療がメインでありました type B 解離に対しても症例に応じてステントグラフトを適応することにより良好な血管のリモデリング(再構築)が可能でありました。急性大動脈解離(type A)手術の院内死亡率は一例のみ 1.3%(全国平均 10~15%)であり、世界的にもトップレベルの救命率とすることができました。当院ではハイリスク症例やショック状態からでも積極的に救命に取り組んでおり、非常に良好な成績と思われれます。また、以前はステントグラフトが困難であると考えられていた慢性大動脈解離症例に対しても、開胸手術とのハイブリッド手術を行うことにより、低侵襲に治療可能となりました。しかしながらステントグラフト特有の合併症も目にするのがあり、その適応についてはさらに厳格に考えていくべきであります。

その他心臓大血管手術

急性心筋梗塞合併症の手術がさらに増加いたしました。心破裂に関してはやはり救命率の向上には至りませんでした。前述のインペラ導入により術後管理の向上が期待できます。また、ハイリスクな状態からでも救命しえた症例も多く、ご紹介元の先生方の迅速な診断によるものと深く感謝申し上げます。

腹部大動脈瘤手術

開腹手術、ステントグラフトともに良好な成績で、待機的手術においては院内死亡を認めませんでした。腹部大動脈瘤破裂に対しても積極的にステントグラフトを導入することにより14例の破裂症例で院内死亡は術前心肺停止の2例(14.2%)のみでありました。一般的には30%を超える死亡率である疾患であり、良好な成績と考えております。昨年も緊急症例に対しては全例ステントグラフトを適応することにより高い救命率を維持することができました。

末梢血管手術

透析シャントや重症下肢虚血に対しても積極的に取り組みました。シャント作成や末梢血管を専門としている医師をチームに招聘することで、より専門的な治療を行うことができました。また、他院からのシャントトラブルにも積極的に緊急受け入れとさせていただきます。

手術外活動

Wet labo

実際の豚の心臓を使用して手術トレーニングを不定期であります。現在心臓血管外科専門医取得において off the job training (臨床外教育)が義務化されており、学会認定専門医教育基幹施設である当科で行った wet labo に関しては正式な受講証明書を発行しております。

学術活動

当科での経験や実績を各学会に発表、討論し、多くの新しい知見を得ることができました。若手医師にも学術トレーニングを行い、積極的に学会や研究会で当科の経験を発信いたしました。

学会発表 (研究会・講演会除く)

2018/5/10	2018/5/11
第46回 日本血管外科学会 総会 山形	第46回 日本血管外科学会 総会 山形
TEVAR後逆行性解離に対する治療経験	十二指腸穿孔を伴う腹部大動脈瘤術後人工血管感染に対して人工血管を温存し大網充填を行った一例
小林豊 川上敦司 白木宏長	川上敦司 小林豊 白木宏長
2018/6/20	2018/6/20
第122回日本循環器学会 近畿地方会 大阪	第122回日本循環器学会 近畿地方会 大阪
大血管疾患セッション 座長	リバースチムニー法を用いてTEVARを施行した一例
小林豊	白木宏長 小林豊 川上敦司
2018/6/22	2018/10/6
第61回 関西胸部外科学会学術集会 名古屋	第71回 日本胸部外科学会 総会 東京
ランチョンセミナー Alpha使える? 使えない?	Strategy of Surgical Procedure for Stanford Type A Acute Aortic Dissection
小林豊	小林豊 川上敦司 白木宏長

論文掲載 (全国誌以上・査読のあるもの)

2018; 27: 197-200
日本血管外科学会雑誌 辻龍典 小林豊 川上敦司
大動静脈瘻を合併し急性心不全を呈した破裂性腹部大動脈瘤に対し緊急ステントグラフト内挿術を施行した1例
2018; 47: 303-306
日本心臓血管外科学会雑誌 小林豊 川上敦司 白木宏長
腎動脈より中枢に移動した下大静脈フィルターに対する開胸開腹下での回収例

総括

昨年も多くの症例の経験をいただき、手術の質も維持、向上することができました。ご紹介元の先生方の的確な判断とご紹介に感謝しております。また麻酔科、技師、看護師、リハビリスタッフなど、各分野のプロフェッショナルが高い目標をもって対応している結果でもあります。また、症例も蓄積されてきており、症例報告のみならず、まとまった成績を文献等に発表できるよう努力させていただきます。来年度も新しいスタッフが増員されることもあり、今後もより重症な患者様に、より高いレベルの治療を提供できるよう、日々の診療に邁進してまいります。今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

緊急手術に関しましても 24時間365日対応しておりますため、お気軽にお声をおかけください。